
好きだよ

蹴球少年

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

好きだよ

【Nコード】

N3327F

【作者名】

蹴球少年

【あらすじ】

僕と君との生活僕は君に「好きだよ」と囁く君の反応が楽しみだよ

好きだよ。

一言呟いて自分の顔が真っ赤になるのがわかった。

君は恥ずかしがることもなく僕の顔をまっすぐ見ている。

なんでそんなに普通でいられるのかな？

あの頃の君は僕のそんなささいな一言でもこころ表情を変えていたのね。

今じゃ慣れちゃったみたいだ。

僕はそんな君の変化が少し寂しいけど、逆に嬉しくもあるよ。

僕は君が恥ずかしがるようなことを考えなきゃいけない。

そんな時間も僕は好きだから。

君が恥ずかしそうにうつむいたり顔を赤くするのを想像しながらいろいろ考えるよ。

それにも君はすぐに慣れちゃうのかもしれないけど、そしたらまた僕は考えるよ。

僕はかなりしつこいやつだから覚悟しといたほうがいいよ。

君が呆れるくらいいろんなことをしてあげるから。

さて、そろそろ僕は仕事に行かなくちゃ。

会社でも僕は君のことだけを考えているから。

君の顔を思い浮かべながらね。

仕事が手につかないんじゃないかって？

そんなことは心配しなくていいよ。

お給料はもらってるんだからちゃんと働くよ。

それも君のためなんだからクビになんてされるわけにはいかないしね。

じゃあ行ってくるから、その前にキスしてくれる？

・・・・・・・・んっ。

いつも言ってることだけど、君の唇は薄くて少し冷たくて、でも少しあったかいよね。

そんな君のその唇も、僕は好きだよ。

あれ、これでも恥ずかしくないの？

キスに慣れてたのは知ってるけど、こんなセリフでもダメなんだ。

うーん、今回は手ごわいんだね。

ちょっと自信は喪失気味だけど、まあ頑張るよ。

じゃあ、本当に間に合わなくなっちゃうから。

行ってきま・・・・・・・・？

行かないでほしい？

先週もだっただじゃないか。

あんまり頻繁だと部長に怒られちゃうよ。

あの薄らハゲのパンダみたいな部長だよ。

何度か話したでしょ？

覚えてないの？

ひどいなあ。

いじわるのつもりだったらやめてよ。

うん？

そんな人どうでもいいって？

………まあ、いいでしょうか。

だって君にそんな瞳で言われたら大事な会議があつたって会社になんて行けないよ。

今日は一日中一緒にいようね。

なにがしたい？

借りてきたDVDでも観る？

………そっか、こっしてただけでいいか。

僕は本当に君には甘いんだなあ。

君もそう思うでしょ？

だって、君は僕と一緒にいてほしいって行ったときに出てっちゃったでしょ？

でも、別に怒ってなんかないよ。

結局はこうして一緒にいてくれてるんだから。

僕が君の襟元にすがりつたら、君はちゃんと止まってくれたんだから。

そのときから君は、笑うことも、泣くことも、話すことも、恥ずかしがることも、瞬きすることも、呼吸することも、心臓を動かすこともしないけど、いつまでも僕と一緒にいてくれるんだからね。

だから僕は満足だよ。

僕は君が好きだよ。

好きだよ。

（後書き）

新しいことをやってみました
ありがちかもしれませんが、どうでしょう？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3327f/>

好きだよ

2010年10月10日01時35分発行